

授業科目 精神保健福祉援助実習指導 III

【担当教員名】 近藤 あゆみ、松本 京介		対象学年	4	対象学科	社会（精神保健福祉コース必修）
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】 精神保健福祉援助実習指導 II と精神保健福祉援助実習 III は切り分けが難しいことから、以下のとおり一体的に扱う。					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神保健福祉援助実習の意義について理解する。 2. 精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。 3. 精神保健福祉援助実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し実践的な技術等を体得する。 4. 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を身につける。 5. 具体的な体験や援助活動を、専門的知識及び技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を身につける。 					
【学習目標・行動目標：SB0】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務について説明することができる。 2. 実習における個人のプライバシー保護と守秘義務について述べるができる（個人情報保護法の理解を含む）。 3. 実習先で必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術について説明することができる。 4. 巡回指導（訪問指導、スーパービジョン）を受ける。 5. 実習記録や実習体験を踏まえて課題を整理し、実習総括レポートを作成する。 					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務についての理解			1.4	全体指導
2	実習における個人のプライバシー保護と守秘義務についての理解			1.4	全体指導
3,4	実習先で必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術についての理解			1.3	全体指導
5-24	実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理			1-5	グループ学習
25-27	実習総括レポートの作成			1-5	グループ学習及び個別指導
28-30	まとめ（実習報告会）			1-5	全体指導
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		適宜プリントを配布			
【評価方法】 授業の出席状況、提出物の提出状況、レポート課題の内容等から総合的に評価する。			【履修上の留意点】 この授業は、原則として精神保健福祉士の資格取得を目指す学生を対象とする。		